

うちゅうせん新聞

広報係 09年3月14日発行 4号

仙台市天文ボランティア会報

“例会”より

1月24日(土) 14:00~16:00 出席者14名
<議事内容>

講演会のおしらせ
山形の小さな天文学者の会より
2月14日(土) 山形大学理学部 大講義室
講師: 渡部 潤一先生 入場無料

観望会の予定

1月31日 七郷市民センター
参加者 永井 近藤 大石 伊川
3月27日 海岸公園
参加者 永井 伊川
4月2日 水の森キャンプ場
4月4日 亘理図書館

須藤さんの自宅に置かせていただいている
荷物について

須藤さん宅に取りに行き、必要なものは天文
台に置かせていただくようにする。

全体会について

3月14日(土) 場所未定 14時~17時
世界天文年 土星 日食についてのスライド
上映会
(永井さん制作)

2月21日(土) 14:40~16:30 出席者15名

ちょっとしたハプニングがあり例会開始が遅れま
したが、和やかな雰囲気です。7月
に日食に行かれる方が数名いらっしゃるようで、広
報係としては、紀行・観測レポートを期待してしま
います

<議事内容>

観望会
3月27日(金) 海浜公園 ベガ号
参加希望者 4名

2008年度のフィナーレ信号の如く、ルーリン彗
星が2月下旬にやって来ました。2008年度の活動、
御苦労様でした。2009年度で更に充実した活動に
なるよう、皆で創意工夫していきましょう。

4月2日(木) 水の森キャンプ場
4月4日(土) 亘理図書館
その他 太白区 東松島教育委員会から依頼

全体会にむけて
観望会の参加賞
天体の写真 永井さんが準備
その他いろいろ考えましょう
新会員募集しましょう!

観望会より

七郷市民センター観望会1月31日(土) 18:30~
20:00(うちゅうせん4名、参加者12名)
観望会曇天バージョン

1. 自己紹介 船長 乗組員その1(近) その2(石) その3(伊)
2. 2009年について 船長
世界天文年 7月22日の日食 土星の輪
3. 今月の星空 その2(石)
4. 星座物語 その3(伊)
プレアデスの7人姉妹
カラスの羽は なぜ くらい
5. 天文クイズ その1(近)
6. 質問コーナー 船長

大雪の天候になり、参加される方が来られるかど
うか……。30名近くの参加申し込みがあったそ
うですが、12名の参加で行いました。みなさん書
くコーナー熱心に参加され、さすがこの悪天候に
来られた方々だなあ と感心させられました。



一番盛り上がったのが、天文クイズ。1問だけ間
違ったお母さんが1位、2問間違った親子3名が
星座のカードをもらいました。後は参加賞でシ
ールが写真を渡しました。ました七郷市民セン
ターの観望会参加4回目の親子がいて、星座物語
では何を見たことがあるか確認しながら上映し。悪
天候の中 参加された船長 乗組員のみなさま
お疲れ様でした。

例年この時期は、観望会が少ないですね。
ちょっと淋しい観望会報告でした。(編集部)



星・の・見・聞・録

行ってきました! 高層ビルのプラネタリウム
<郡山ふれあい科学館 スペースパーク>
郡山駅西口すぐのビックアイ 22階には、スペース
パークがあり、泉中央にあったこども宇宙館を思い
起こさせるような宇宙開発をメインとした展示室
です。高層ビルの最上部内にある巨大な球体が特徴
で上部がプラネタリウムで下部が展示室となっ
ています。展示室入口はトンネルのようで宇宙への情
熱を燃やした先人達の思いをジオラマで解説する
プロローグが探究心を刺激し、階段を下り宇宙を掘
り下げていくストーリー性のある展示順路でした。
特に、国際宇宙ステーション「きぼう」の実寸大模
型は驚きで、テレビで見ている船内をリアルに体感
できる興味深いものでした。

また、ボランティア活動も活発で館内に四つのグ
ループがあります。天文グループは駅前で星座観望
会を実施する夜間の活動が中心となっており、他に
案内サービス、鉄道ジオラマ、科学の各グループが
あり、合同で機関紙が発行されておりお互いに刺激
しあった活動という印象でした。

アクセスの良さと眺望の良さ……。皆さんも郡山
市に行った際にはぜひ立ち寄って天文台とは一味
違った「宇宙開発」というコンセプトの展示を味わ
ってみてはいかがでしょうか。

新星座物語 近日公開!

季節に関係なく使える新しい星座物語として、月や北極
星がいろいろの。との構想以来数年の時を経て
2009年新しいお話がデビューしようとしています。
そして今回、発表に先立ち、制作スタッフの感想などを
紹介していきます。

質問: 今回星座物語を作製する事になった、きっかけは
なんですか?

答え: ちょうど冬ソナがブームの頃でした。ポラリスを
覚えた時、むかし八神純子が歌っていた曲でポーラ・ス
ターと言うヒット曲があり(古い:笑)その違いを調べ
ようと思った矢先に、図書館で見つけた子供向けのお話
です。実は、ポラリスとポーラスターについてはその後
調べていません。誰か教えてちょうだい!(辺)

質問: 飯田さんに白羽の矢を建てたのは、今までの力作
「オリオンとサソリ」等の素晴らしいからだと思います
が、苦労された所は何処でしょうか?

答え: どこを見回しても寝ても覚めてもインディアンな
ところですよ! 数は多いカラフルな奴らで手を焼きま
した。(飯)



物語の絵のシーンは全部で13枚。色塗り作業は数名
で行い、素晴らしい出来ばえとなりました。乞うご期待

2008年の活動フォトギャラリー (8月)蔵王・芦の口小



20年度を振り返って

2008 年を振り返り 2009 年に向けて

永井 船長

1997年9月に天文ボランティアうちゅうせんが誕生してから今年で12年目を迎える。人間であれば小学校6年の新学期に当たる事になる。

私が乗船したのは誕生から2年目であったが、気が付くと私より以前のメンバーは誰もいなくなっている事に気付く。皆同じ様に年をとり、年齢と共に関心事や物事の優先順位が変わる訳だから下船するメンバーが居て当たり前・判ってはいるものの寂しい気持ちは否めない。

2006年まで仙台市天文台で実施されていた「ボランティア養成講座」が乗組員増強の大きな要素であったが、以前の天文台から新天文台に替わる段階で、養成講座が無くなり退会者は出るものの新たな乗組員が入ってくる要素はかなり狭まった。各人が同好の士を勧誘する必要が出て来たと言うものだ。メンバーの増減についてはいつも言っている事だが「来る者拒まず・去る者追わず」である。馬を水辺に連れて来る事は出来ても水を飲ませるのは意のままにはならない・と言う難しさはありそうだが・・・各人の尽力に期待したい。

1年を振り返ると、依頼観望会は増えこそすれ減ってはいない。依頼先から喜ばれている・と受け取って間違いは無さそうだ。

一方、こちら側の参加者は例年の事だが、かなり固定化されている。実施の曜日の要素は否定出来ないし、無理を言う積りはさらさら無い。もう少し参加して見ようとする気持ちは必要かも知れない・などとは思っている。

今年(2009年)は各人がボランティアうちゅうせんの目的を自覚し、行動に結びつける1年にしようではありませんか。

何れにせよ、我々の対象は次代を担う子供達がメイン。観望会を通し、晴れようが曇ろうが自然に触れる楽しさ・大事さを知って貰い、物事に関心を持ち、好奇心でキラキラ輝く子供達の澄んだ目を見続けたいものと思っている。

総務企画係

2008年の世相を表す漢字は「変」でした。昨年は世界中で様々な“変化”が有りましたが、私たちの身近にも天文台の移転と言う大きな変化が有りました。

定例会ほか活動の拠点が西公園から錦ヶ丘に変わりました。

今年度総務企画係の大きな変化は定例会場の手配でした。

今まで経験していないことでしたので、昨年3月以降の会場選定には随分悩みました。

駐車場は必要かなとか、中心部から離れると参加者が減るかも知れないと心配しましたが、7月からは新天文台に落ちていて少しホッとしました。

今年度は係の見直しをしましたが、その効果なのか以前より少し活性化したように感じました。

係の枠を超えて協力し合い、作品を作り上げたのもその表れだったと思います。

また、観望会以外の活動でも様々な新しい動きが感じられました。

変化はこれからも続くと思いますが、依頼者のニーズに柔軟に応えられる「愛される“うちゅうせん”」であり続けて欲しいと思います。

観望係

今年度のうちゅうせんの活動、みなさんお疲れ様でした。自分としては観望会への参加が少なくなりましたが、芸達者なみなさんの活躍でこの1年も無事に終えることができそうです。

今年度を振り返って一言書いてみます。ここ何年かの傾向ですが、前年に引き続きとか、複数回の依頼がありました。

これまでの活動が認められている証拠かなと思い、うれしい限りです。新天文台もオープンして、星空に興味のある人が増えているということのあらわれでもあると思います。観望会によって、もっと星が好きになってくれたらいいですね。観望会は、その時に星の話をしたり、実際に星を望遠鏡で見せて楽しんでもらうだけでなく、その後も自分で星空を見上げてもらえるようになったら大成功ですね。以前からのメンバーの復帰もあり、パワーアップして来年度もまた皆でがんばっていきましょう。(但し、無理のないように!)

広報係

今年度の始まりは西公園の天文台閉鎖後で、例会場を探しながらと...という時期で、観望会も含めて集まりづらい時期だと思えます。さらに、天文ボランティア養成講座も無くなり、新乗組員の話も少なく花見などの交流イベントも中止となるなど停滞気味の様子でした。

その中、広報係では記録と情報交換、そして活性化を目指し編集してきました。

従来の観望会のほか、蔵王の牧場、スキー場そして「塩釜を見る会」といった新たな企画の報告や興味を持つ話題を探り上げ、新天文台への期待に繋がりたいとの願いがありました。

観望会の模様はリーダーから伝言板等でマメに報告があり原稿としてとても助かりました。今後もイベントの模様や楽しい話題がネット上で交わされることを楽しみにしています。

会計

各係のみなさんの活躍に感謝します。会計を担当された(近)さん、細かい計算から、各種支払いの気遣いに感謝します
来年度もよろしく!?

【編集者の一言】あと一ヶ月もしないうちに桜が咲き始めますね。4月からは、観望会が数回予定されています。この広報新聞が、活動のあしあとになるといいと思います。今回は、多くの方から原稿を書いてもらいました。ありがとうございました。

(月刊天文ガイド Astro Calendar2009より)

4月の天文現象

4/9 満月
4/22 こと座流星群が極大
4/26 水星が東方最大離角
おとめ座流星群が極大

5月の天文現象

5/2 金星が最大光度
5/6 木星の衛星の相互食が開始
みずがめ座 流星群が極大
5/9 満月・5/18 水星が内合
5/22 木星、海王星が西矩
5/27 海王星と木星が再接近

2009年例会予定

開始時間は全て14時からです。

月	土曜日	月	土曜日
4月	18日	10月	17日
5月	23日	11月	28日
6月	20日	12月	26日
7月	25日	1月	23日
8月	29日	2月	20日
9月	26日	3月	20日

変更がある場合は、メールなどでお知らせします。(2010年3月20日は全体会)

編集後記

今年度天文台が郊外に移転オープンし例会には集まるものの、活動人数は何か少なく感じられます。例会や観望会などの活動記録と乗組員相互の情報交換のコミュニケーション手段として「うちゅうせん新聞」が役立っていれば嬉しいです。観望会に役立つ知識の提供も含めてお役に立てればと思います。(辺)

今回広報の割り付け作業をやってみて、渡辺さんの手際よさを痛感しました。いつも感謝感謝です。みなさんからのたくさんの記事をお待ちしています。(石)

平成20年度最後のうちゅうせん新聞4号に、原稿をお寄せくださった皆様ご協力ありがとうございました。

そして退会される皆様、遊びに来て下さいね。♥(伊)

新メンバーの加入、レイアウトの変更、というように広報係、新聞も変遷しています。興味深い新聞となるよう、検討していきます。(今)

6月の天文現象

6/6 金星が西方最大離角
6/8 満月
6/9 土星が東矩
6/13 水星が西方最大離角
6/18 22P/コップ水星が観測好期
天王星が西矩